



この一般質問の映像はこちらから

防災対策の推進について



田村 浪行

質問

町民の防災意識向上への取組は

町 自主防災組織の結成を推進

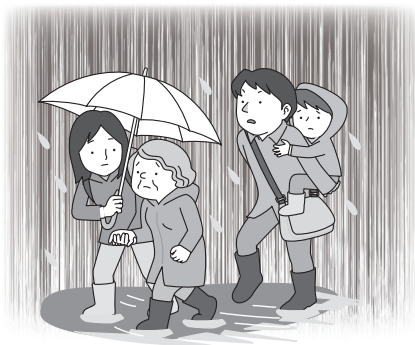
問 近年、異常気象により、想定を超える大規模な自然災害が激甚化、多発化している。災害から命を守るためにハード面に頼らず、ソフト面から人間力による防災・減災の取組は。

答 広報那須に防災のワンポイントと題し予防及び被害軽減などのポイントを載せ防災意識の向上に取り組んでいる。また、小中学生向けには町独自に導入する新教科の中で防災教育を実施し、小さい時から自助・共助の知識と態度が身につけられるように取り組んでいる。

問

西日本豪雨で死傷者を出さなかった地域では、顔の見える範囲で防災組織を結成し、高齢者を誰が担当するか決め、危険を感じた時は自ら避難をしたことが功を奏した。町の考えは。

答 町においても防災組織が少ないので、今年度から補助金等を活用し地域に合った組織の結成を促す方向で進めていく。



健康増進事業について

質問

健康マイレージの取組は

町 来年度より予算化し実施へ

問 平成28年12月定例会で健康マイレージの質問に対し、町から実施する方向性について、「異論のない」との答弁があったが、その後の進捗は。

答 2019年度に制度設計をし、出来れば2020年度から実施したいと考えている。

問

健康マイレージの導入は近隣の市ですでに実施している。また来年度から実施の方向で動いている。町の具体的な計画は。

答 平成30年度において県内17市町で実施している。町としては、実施することにより健康作りに参加するきっかけづくり、動機づくりを図り、継続に対する支援、習慣化、定着した後のフォローを考えていく。

